

平成30年3月市議会定例会
環境部
議案説明資料
(当初予算分)

目次

<予算案件>

環境部所管	平成30年度当初予算(案)総括表	1頁
1	地球温暖化対策推進事業費	
	チームとやまし推進事業費	2頁
2	新エネルギー推進事業費	
	(1) 太陽光発電システム導入補助事業費	3頁
	(2) 省エネ設備等導入補助事業費	4頁
	(3) 木質バイオマス利用計画策定事業費【新規】	5頁
3	環境未来都市推進事業費	
	(1) 環境未来都市推進事業費	6頁
	(2) 富山型農村低炭素化モデル事業費	7頁
	(3) エゴマ6次産業化推進事業費	8頁
4	SDGs推進事業費【新規】	9頁
5	国際展開事業費	
	(1) タバナン県小水力発電展開支援事業費	10頁
	(2) タバナン県精米機展開支援事業費【新規】	11頁
	(3) タバナン県廃棄物処理展開支援事業費【新規】	12頁
	(4) イスカンダル地域国際展開事業費	13頁
	(5) インドネシア・ブンクル州小水力展開事業費【新規】	14頁
6	斎場管理費	
	富山市斎場再整備事業費	15頁
7	環境保全事務費	
	(1) カラス対策事業費	16頁
	(2) 山小屋トイレ整備・改良事業費	17頁
8	廃棄物分別回収推進事業費	18頁
9	地域環境美化推進事業費	
	ごみ集積場環境整備事業費	19頁
10	塵芥処理維持管理費	
	塵芥収集車両維持管理事業費・塵芥収集車両更新事業費	20頁

<予算案件>

環境部所管 平成30年度当初予算(案) 総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分 予算科目 (款・項)	平成30年度 当初予算(案) A	平成29年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A - B	増減率 A / B
(款4) 衛生費	3,844,821	4,923,788	△ 1,078,967	78.09%
(項2) 環境衛生費	3,844,821	4,923,788	△ 1,078,967	78.09%

1 地球温暖化対策推進事業費

チームとやまし推進事業費

[環境政策課]

1 目的

低炭素社会の実現に向け、市民、事業者、行政等が連携協力する市民総参加型のプロジェクト「チームとやまし」の取組みについて、地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」とも連携を図り、さらなる事業の推進を図るもの。

2 事業内容

- | | |
|--|------------|
| (1) COOL CHOICE 普及啓発事業費 | 7, 866 千円 |
| 省エネ家電やエコ住宅の選択など、身近な生活の中での「COOL CHOICE (=賢い選択)」をテーマとした関連イベント等を実施し、市民に一人ひとりの地球温暖化防止活動の大切さを周知・啓発するもの。 | |
| (2) 緑のカーテン推進事業 | 381 千円 |
| 緑のカーテンコンテストを開催するほか、保育所等に「緑のカーテン」を設置し、環境教育の推進と温室効果ガスの削減を目指すもの。 | |
| (3) チームとやましホームページ改修費等 | 1, 454 千円 |
| (4) 事務費 | 788 千円 |
| 3 予算額 | 10, 489 千円 |
| 【特定財源】国庫支出金（地球温暖化対策推進事業費補助金） | 8, 241 千円 |
| 【一般財源】 | 2, 248 千円 |

2 新エネルギー推進事業費

(1) 太陽光発電システム導入補助事業費

[環境政策課]

1 目的

温室効果ガスの削減を図るため、太陽光を利用した再生可能エネルギーの導入を促進するもの。

2 事業内容

市内に自ら居住する住宅に太陽光発電システムを導入した個人に対し、補助を行う。

- ・補助対象設備 : 2 kW以上の太陽光発電システム
- ・補助額(1件) : 5万円

3 予算額 20,033千円

【一般財源】 20,033千円

[参考] 補助実績

(単位: 件)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (1月末現在)
補助件数	644	431	322	399	120

(2) 省エネ設備等導入補助事業費

[環境政策課]

1 目的

住宅等の省エネルギー化を推進し、温室効果ガスの削減を図るため、燃料電池など省エネ設備や化石代替燃料を使用する木質ペレットストーブの普及を促進するもの。

2 事業内容

市内に自ら居住する住宅に省エネ設備等を導入した個人に対し補助を行うもの。ペレットストーブについては、市内の事業所に導入した事業者に対しても補助を行うもの。

また、平成30年度からは、住宅用太陽光発電システムとあわせて、エネファーム、蓄電池、HEMSを一括して導入した個人に対し、設備ごとの補助金額の合計に5万円を加算した額を補助するもの。

補助対象設備	補助金額（1件）
1 ペレットストーブ（木質ペレット燃料使用）	5万円
2 エネファーム（家庭用燃料電池）	5万円
3 地中熱利用システム （地中と外気との温度差を利用する空調設備）	10万円
4 蓄電池	5万円
5 太陽熱利用システム （水や不凍液などを熱媒として熱交換を行う設備）	3万円
6 エコウィル（家庭用ガスエンジン給湯器）	3万円
7 HEMS（家庭用エネルギー管理システム）	1万円

3 予算額 6,233千円
【一般財源】 6,233千円

〔参考〕補助実績

(単位：件)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (1月末現在)
ペレットストーブ	40	17	29	16	10
エネファーム	44	24	26	52	61
地中熱利用システム	0	0	0	0	0
蓄電池	6	11	67	46	45
太陽熱利用システム	1	0	1	0	0
エコウィル	0	1	2	0	0
HEMS	-	-	32	42	15
計	91	53	157	156	131

(3) 木質バイオマス利用計画策定事業費【新規】

[環境政策課]

1 目的

本市の豊富な森林に賦存する木質バイオマス資源の持続的な活用を図るため、木質バイオマスエネルギー使用設備の利用導入計画を策定し、市域から排出される温室効果ガス排出量の削減につなげるもの。

2 事業内容

国の関連補助制度の支援を活用しつつ、市域における木質バイオマス資源のポテンシャルを把握し、有効活用できる木質バイオマスエネルギーの地産地消の推進に向け、賦存量に応じた設備の導入計画を策定するもの。

- (1) 林業の現況把握や木質バイオマス賦存量等の調査
- (2) 公共施設等での利用可能性調査
- (3) 木質バイオマスエネルギー使用設備の導入計画の策定

3 予算額

	10,000千円
【特定財源】国庫支出金（地球温暖化対策推進事業費補助金）	10,000千円

3 環境未来都市推進事業費

(1) 環境未来都市推進事業費

[環境政策課]

1 目的

富山市環境未来都市計画及び富山市環境モデル都市行動計画に掲げた取組みのフォローアップを行い、各計画を着実に推進するとともに、その成功事例を国内外に普及展開を図るもの。

2 事業内容

- (1) 環境未来都市関連 4, 426千円
- ・環境未来都市推進協議会の運営に係る経費
 - ・環境未来都市計画の推進及び普及啓発に係る経費

- (2) 環境モデル都市関連 3, 500千円
- ・環境モデル都市行動計画の推進に係る経費
 - ・第3次富山市環境モデル都市行動計画の策定に係る経費

- 3 予算額 7, 926千円
- 【一般財源】 7, 926千円

[参考]

平成30年度に実施する主な環境未来都市事業

- (1) LRTネットワークの形成 【都市整備部 路面電車推進課】
- ・富山ライトレールと市内電車の接続事業
- (2) セーフ&環境スマートモデル街区の整備 【環境部 環境政策課】
- ・旧豊田小学校跡地におけるモデル街区普及啓発事業
- (3) 再生可能エネルギーを活用した農業活性化 【環境部 環境政策課】
- ・営農サポートセンターにおける再生可能エネルギーの見える化
- (4) ヘルシー&交流タウンの形成 【福祉保健部 長寿福祉課】
- 【都市整備部 都市政策課・中心市街地活性化推進課】
- ・歩行補助車ステーション事業
 - ・中心市街地における交通空間の利活用交流推進
- (5) 農山村地域コミュニティビジネスの創出 【農林水産部 農政企画課】
- ・農業を核としたコミュニティビジネスの検討

(2) 富山型農村低炭素化モデル事業費

[環境政策課]

1 目的

農業者等に小水力発電等の再生可能エネルギーの有用性を体感してもらうことで、農村への普及展開を図り、農村の低炭素化を目指すもの。

2 事業内容

営農サポートセンター内に導入した再生可能エネルギー設備等(マイクロ水力発電システム、太陽光発電システム、地中熱ヒートポンプ、蓄電池)の保守管理を行うとともに、再生可能エネルギーを活用した農作物の栽培実証業務を行うもの。

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (1) 再生可能エネルギー設備保守管理業務 | 1,350千円 |
| ・小水力・太陽光・地中熱ヒートポンプ保守点検、データ収集・分析 | |
| (2) 農作物栽培実証業務 | 3,000千円 |
| ・ビニルハウス・ソーラーシェアリング地内の栽培に係る経費 | |
| (3) 事務所移転に伴う再生可能エネルギー設備データ管理用パソコン移設業務 | 419千円 |
| (4) その他事務費 | 559千円 |
| ・普及啓発用チラシ作成等 | |

3 予算額

- | | |
|------------------------|---------|
| | 5,328千円 |
| 【特定財源】国庫支出金(地方創生推進交付金) | 1,500千円 |
| 【一般財源】 | 3,828千円 |

(3) エゴマ6次産業化推進事業費

[環境政策課]

1 目的

エゴマの6次産業化に向けて、エゴマの有用成分に着目した研究や日伊ブレンドオイル開発により、エゴマのブランド力を高めるとともに、企業の新商品開発の促進や市民向けの普及啓発により、地域の特産品としての確立を目指すもの。

2 事業内容

- | | |
|------------------------------|---------|
| (1) エゴマブランド化促進業務委託 | 2,000千円 |
| ・エゴマ含有成分の深堀研究(富山大学) | |
| ・エゴマ含有成分の予防効果研究(名古屋市立大学) | |
| (2) エゴマ6次産業化プラットフォーム推進業務委託 | 5,000千円 |
| ・エゴマの効用・健康効果に関する周知啓発 | |
| ・商品開発プロデューサーによる商品開発支援・ノウハウ習得 | |
| ・国内外への販路拡大を想定したマーケティング調査等 | |
| (3) エゴマ国際ブランド確立業務委託 | 1,000千円 |
| ・販路拡大に向けた市場調査の実施 | |
| ・EU地域で開催される展示・商談会等でのPR | |
| (4) エゴマ市民普及啓発業務委託 | 1,000千円 |
| ・エゴマ種子の無料配布業務 | |
| ・新ブランド名の普及啓発業務 | |
| ・市民向けエゴマ体験ツアーの実施 | |

3 予算額

- | | |
|------------------------|---------|
| | 9,000千円 |
| 【特定財源】国庫支出金(地方創生推進交付金) | 4,500千円 |
| 【一般財源】 | 4,500千円 |

4 SDGs推進事業費【新規】

[環境政策課]

1 目的

SDGs（持続可能な開発目標）は、「世界中の誰ひとり取り残さない」をテーマに、平成27年9月の国連サミットで193の全ての国連加盟国が合意した2030年までに達成すべき課題と、その具体目標を定めたものであり、本市がSDGsを推進していくため、「富山市SDGs未来都市計画」（仮称）の策定に向けた調査・検討を行うとともに、市民・企業への普及啓発及び国際的な場での情報発信を行うもの。

2 事業内容

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) 富山市SDGs未来都市計画調査検討業務 | 4,000千円 |
| ・SDGsの目標・指標、具体的取組等の検討 | |
| ・国内外の政府・自治体・企業・市民等の動向整理 | |
| ・SDGs達成に向けたビジョン・行動計画の策定 | |
| (2) フォーラム開催等業務 | 1,000千円 |
| ・富山市SDGs普及啓発フォーラムの開催、広報等による周知啓発 | |
| (3) 国連ハイレベル政治フォーラム出席 | 4,990千円 |
| ・国連ハイレベル政治フォーラム出席旅費等 | |

- | | |
|--------|---------|
| 3 予算額 | 9,990千円 |
| 【一般財源】 | 9,990千円 |

【参考】

SDGsに関する今後の予定

- | | |
|---------|--------------------|
| 平成30年2月 | 「SDGs未来都市」公募開始 |
| 同年3月 | 申請書の提出 |
| 同年7月 | 「SDGs未来都市」の選定 |
| 平成31年3月 | 「富山市SDGs未来都市計画」の策定 |

5 国際展開事業費

(1) タバナン県小水力発電展開支援事業費

[環境政策課]

1 目的

インドネシア・タバナン県における小水力発電展開事業については、平成29年1月にJICA中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」の採択を受けて事業を開始した。平成29年11月には4基の小水力発電システムが設置されたところであり、その後はインドネシア全土に向けて展開されるものである。本市は小水力発電システムの普及・展開がスムーズに行われるよう、行政側の窓口として政府の関係省庁やバリ州、タバナン県との調整を行うとともに、現地での普及のための実行委員会の運営に積極的な支援を行うもの。

2 事業内容

環境未来都市計画に位置付けている「環境未来都市とやまのパッケージ化による都市間連携の推進」プロジェクトとして、タバナン県における小水力発電展開事業のJICA普及・実証事業がスムーズに行えるよう、市が行政等の交渉窓口として、政府の関係省庁やバリ州、タバナン県との調整を行うもの。

- ・旅費（普通旅費・特別旅費） 5,020千円
- ・需用費（消耗品費）及び役務費（通信運搬費） 115千円

事業名	: 2016年度第2回中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～
提案事業名	: 「用水路対応型小水力発電システムによる農村地域の電力不足解消に向けた普及・実証事業」
提案法人名	: 水機工業株式会社
提案概要	: 用水路に対応した小水力発電システムを活用し、タバナン県の電力不足解消を図り、地域の人々の生活改善への貢献を目指す。 ※4基設置済

3 予算額

- 5,135千円
- 【特定財源】諸収入（JICA中小企業海外展開支援事業費） 4,725千円
- 【一般財源】 410千円

(2) タバナン県精米機展開支援事業費【新規】

[環境政策課]

1 目的

インドネシア・タバナン県における精米機展開事業については、平成29年6月にJICA中小企業海外展開支援事業「案件化調査」の採択を受けて事業を開始した。案件化調査では、米の品質低下や農業の担い手不足などによる農業の衰退を解消するため、長粒米対応用の小型精米機の導入による米収穫後処理技術の向上について調査する。なお、案件化調査終了後は「普及・実証事業」に申請し、将来的には、小水力プロジェクトで発電した電力を精米機に供給するパッケージモデルとして展開されるもの。

2 事業内容

タバナン県における精米機展開事業のJICA案件化調査及びJICA普及・実証事業がスムーズに行えるよう、市が行政等の交渉窓口として、タバナン県・関係機関等との調整を行うもの。

- ・旅費（普通旅費・特別旅費） 4,075千円
- ・需用費（消耗品費）及び役務費（通信運搬費） 92千円

事業名	: 2017年度第1回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～
提案事業名	: 「農家・農民グループ向け高性能小型籾摺精米機導入のための案件化調査」
提案法人名	: 株式会社タイワ精機
提案概要	: 米の品質低下や農業の担い手不足などによる農業の衰退を解消するため、長粒米対応用の小型精米機の導入による米収穫後処理技術の向上について調査する。

- ### 3 予算額
- | | |
|------------------------------|---------|
| | 4,167千円 |
| 【特定財源】諸収入（JICA中小企業海外展開支援事業費） | 3,780千円 |
| 【一般財源】 | 387千円 |

(3) タバナン県廃棄物処理展開支援事業費【新規】

[環境政策課]

1 目的

インドネシア・タバナン県知事の協力依頼により、タバナン県の廃棄物処理について富山市や市内企業の技術やノウハウを適用する事業を実施する。現在実施を予定しているJICA中小企業海外展開支援事業「案件化調査」において、市内企業の支援をするとともに、その後の普及・実証へとつなげるもの。

2 事業内容

タバナン県における廃棄物処理展開事業のJICA案件化調査及びJICA普及・実証事業がスムーズに行えるよう、市が行政等の交渉窓口として、タバナン県・関係機関等との調整を行うもの。

- ・旅費（普通旅費・特別旅費） 6, 141千円
- ・需用費（消耗品費）及び役務費（通信運搬費） 138千円

事業名	: 2017年度第2回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～
提案事業名	: 「有機性廃棄物の再資源化サプライチェーン事業案件化調査」
提案法人名	: 株式会社石橋
提案概要	: ごみ処分場所の確保及びごみ処分場の悪臭・衛生・地下水汚染という課題解消を図るため、コンポストプラントを導入するとともに、家庭の生ごみと農業廃棄物からコンポストを製造して農業に利用するサプライチェーン事業を行う。

- #### 3 予算額
- | | |
|------------------------------|----------|
| | 6, 279千円 |
| 【特定財源】諸収入（JICA中小企業海外展開支援事業費） | 5, 670千円 |
| 【一般財源】 | 609千円 |

(4) イスカンダル地域国際展開事業費

[環境政策課]

1 目的

環境分野において協力協定を締結しているマレーシア・イスカンダル地域から、策定後10年を経過しているイスカンダル地域開発計画の一部見直しと、小水力や太陽光発電システムの導入について、本市が取り組んでいる環境未来都市としての知見の共有や、市内企業の製品や技術の提案に関し協力要請があったことから、JICA事業での事業化に向けて、外部人材として必要な知見を提供するもの。

2 事業内容

イスカンダル地域開発庁における開発計画の見直しに対する支援を行うもの。特に、当市の特徴である「歩いて暮らせるまち」、「高齢者も安心して暮らせるまちづくり」など、環境に配慮した政策を同地域の計画に盛り込めるように支援するもの。

・旅費（普通旅費・特別旅費）	1,750千円
・需用費（消耗品費）及び役務費（通信運搬費）	565千円
・使用料及び賃借料（借上料）	442千円

3 予算額	2,757千円
【一般財源】	2,757千円

[参考]

今後の予定

平成30年4月～	イスカンダル地域開発庁（JRDA）にて企画書の作成
同年7月	JRDAがマレーシア政府経済企画局（EPU）に企画書を提出 EPUが審査し、日本国外務省に提出
同年8～12月	外務省で審査し、採択されれば次年度にJICA予算として事業化
平成31年4月	JICA事業として実施

(5) インドネシア・ブンクル州小水力展開事業費【新規】

[環境政策課]

1 目的

インドネシア共和国のスマトラ島では、ピーク負荷が設備容量を超えており、計画停電で対応するなど厳しい需給状態にある。このことから、環境未来都市としての責務を果たし、市内企業のビジネスチャンスの創出につなげるため、スマトラ島のブンクル州レボン県のケタウン川での小水力発電所の設置に向けて、円滑な事業推進のための必要な支援を行うもの。

2 事業内容

環境未来都市計画に位置付ける「環境未来都市とやまのパッケージ化による都市間連携の推進」プロジェクトの一環として、ブンクル州レボン県における小水力発電展開事業がスムーズに行えるよう、レボン県と協力協定を締結した上で、市が行政等の交渉窓口として、レボン県・関係機関等との調整を行うもの。

・旅費（特別旅費）	1, 838千円
・需用費（消耗品費）及び役務費（通信運搬費）	244千円
・使用料及び賃借料（借上料）	230千円

3 予算額	2, 312千円
【一般財源】	2, 312千円

6 斎場管理費

富山市斎場再整備事業費

[環境保全課]

1 目的

著しく老朽化が進む富山市斎場について、将来にわたり支障なく火葬業務が実施できるようPFI手法を用いた再整備に向け準備を進めるもの。

2 事業内容

富山市斎場再整備事業の実施にあたり、専門コンサルタントの支援を受けながら提案審査委員会を開催し、PFI事業に参加する民間事業者の募集・選定を行うとともに、敷地の現況測量などを行う。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| (1) 提案審査委員会の開催 | 757千円 |
| ・PFI事業者の選定に関する提案審査委員会の運営に係る経費 | |
| (2) PFIアドバイザー業務委託 | 27,000千円 |
| ・提案審査委員会の運営への支援 | |
| ・PFI事業者の募集・選定への支援 | |
| ・事業契約の締結等への支援 | |
| (3) 敷地現況測量業務委託 | 1,800千円 |
| ・敷地の測量及び地形図の作成 | |
| (4) 土壌汚染対策調査業務委託 | 3,300千円 |
| ・敷地の土壌についての安全性を確認する調査 | |

3 予算額

32,857千円

【一般財源】

32,857千円

7 環境保全事務費

(1) カラス対策事業費

[環境保全課]

1 目的

都心部では、夕暮れ時に多くのカラスが群舞する光景やふん害がみられ、都市景観の悪化が懸念される。このことから、カラスの個体数を減少させるため、広報による市民啓発を行うとともに、富山市中心市街地カラス対策推進業務として、都心部のカラスの捕獲等に重点的に取り組み、都市のイメージアップを図るもの。

2 事業内容

(1) 市民への啓発

217千円

- ・カラスの餌となる食べ物の量を減らす対策について、啓発記事を広報に掲載し、市民に協力を呼びかける。

(2) 捕獲

① 富山市中心市街地カラス対策推進業務

25,000千円

- ・檻による捕獲

城址公園内の3基、市役所、県庁、旧図書館等中心市街地の7基、餌場の浜黒崎地内、大山地域の各1基の計12基で捕獲を強化する。

- ・営巣期間中のカラスの巣の撤去

② 狩猟期間中の銃器による捕獲

619千円

(3) 城址公園周辺のカラス生息数の調査

1,285千円

3 予算額

27,121千円

【一般財源】

27,121千円

[参考] 捕獲実績

(単位：羽)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
生息数	9,293	5,896	5,983	6,538	7,500	6,568	4,482	3,996	3,330	調査中
捕獲数	1,395	1,772	1,925	1,671	920	1,525	1,702	965	607	1,498

※ 平成29年度の捕獲数は平成30年1月末現在

(2) 山小屋トイレ整備・改良事業費

[環境保全課]

1 目的

登山者の利便性の確保と山岳地域の環境保全を目的として、民間の事業者が行う環境に配慮した山小屋トイレの整備・改良事業を対象に助成するものであり、平成30年度にスゴ乗越小屋がトイレ改修を予定していることから補助するもの。

2 事業内容

- (1) 対象事業は、民間の事業者が行う環境に配慮した山小屋トイレ（排水、し尿処理施設を含む。）の整備・改良事業とする。
- (2) 補助金額は、対象事業経費から国の補助金や寄付金などの金額を控除した額の1/3（上限5,000千円）とする。

- ・山小屋トイレ整備改良事業補助金 5,000千円
- ・旅費（完成検査：2人） 83千円

	山小屋名	定員	総事業費見積額 (市費補助予定額)	整備内容
H30 予定	スゴ乗越 小屋	50名	未定 (5,000千円)	バイオ式トイレの設置

- 3 予算額 5,083千円
【一般財源】 5,083千円

〔参考〕近年の補助実績

No.	年度	山小屋名	定員	総事業費 (市費補助額)	整備内容
1	H25	高天原 山荘	75名	65,100千円 (5,000千円)	バイオ式トイレの設置
2	H29	五色ヶ原 山荘	30名	31,577千円 (5,000千円)	バイオ式トイレの設置
3		水晶小屋	20名	77,621千円 (5,000千円)	バイオ式トイレの設置

8 廃棄物分別回収推進事業費

[環境センター管理課]

1 目的

家庭から排出される廃棄物から、容器包装リサイクル法に基づく「空き缶、空きびん、ペットボトル、プラスチック製・紙製容器包装」などの資源物を分別回収し、ごみの減量化・資源化を図り循環型社会の構築を推進するもの。

2 事業内容

回収内容等

廃棄物の種類		回数	形態
燃やせるごみ		2回/週	直営・委託
燃やせないごみ		2回/月	直営・委託
資源物	空き缶	2回/月	直営・委託
	空きびん	2回/月	委託
	ペットボトル	・ 随時 (協力店等) ・ 1～4回/月 (ステーション)	委託
	プラスチック製容器包装	4回/月	委託
	紙製容器包装・古紙	1回/月	委託

- ・回収専用容器購入費等 4,699千円
- ・収集運搬委託料 576,534千円

3 予算額	581,233千円
【特定財源】諸収入	97,444千円
(資源有価物広域圏売却収入・古紙売却収入)	
【一般財源】	483,789千円

[参考] 行政回収実績

(単位：トン)

廃棄物の種類	回収量				
	平成 29 年度 (1月末現在)	平成 28 年度		平成 27 年度	
		(1月末現在)	(通年)		
燃やせるごみ	70,012	70,297	81,545	82,803	
燃やせないごみ	4,095	4,130	4,781	4,970	
小計(A)	74,107	74,427	86,326	87,773	
資源物	空き缶	609	604	709	749
	空きびん	1,879	1,964	2,321	2,408
	ペットボトル	417	479	548	539
	プラスチック製容器包装	1,999	2,057	2,413	2,468
	紙製容器包装	58	56	66	65
	古紙類	1,111	1,115	1,345	1,341
小計(B)	6,073	6,275	7,402	7,570	
合計(A+B)	80,180	80,702	93,728	95,343	

9 地域環境美化推進事業費

ごみ集積場環境整備事業費

[環境センター業務課]

1 目的

ごみ収集作業の効率化及び、カラスの餌となるごみの散乱の防止等、生活環境の保全を図るため、固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置並びに、簡易式ごみ集積場の購入に対して、富山市ごみ集積場整備事業補助金交付要綱に基づき補助金の交付を行うもの。

2 事業内容

固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置や簡易式ごみ集積場を購入した場合に補助率2分の1（限度額有）の補助金を助成するもの。

種類		補助限度額 (1箇所あたり)	予算額
固定式	新設	200千円	6,431千円
	統合	300千円	850千円
折りたたみ式		100千円	3,219千円
簡易式		10千円	500千円

3 予算額

11,000千円

【一般財源】

11,000千円

[参考] 補助実績

(単位：箇所数)

種類		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
固定式	新設	60	54	40	45	37	31
	統合	2	3	5	3	2	4
折りたたみ式		28	35	42	36	32	37
簡易式		—	—	—	—	—	14

※平成29年度の実績数は、平成30年1月末現在
簡易式は、平成29年10月1日から補助対象

10 塵芥処理維持管理費

塵芥収集車両維持管理事業費・塵芥収集車両更新事業費

[環境センター業務課]

1 目的

ごみ収集業務を円滑・安全に行うため、老朽化した塵芥収集車を順次更新するとともに、塵芥収集車付属品についても新規設置や更新を行うもの。

2 事業内容

- | | |
|--|----------|
| (1) 塵芥収集車の更新 (2台) | 26,000千円 |
| 老朽化した塵芥収集車の更新を図る。 | |
| (2) ドライブレコーダーの設置 (44台) | 948千円 |
| 市内全域を巡回し、ごみ収集・運搬を行っている塵芥収集車に、清掃職員の一層の安全運転意識の向上に資するため、また、まちなかにおける交通事故や事件等が発生した場合の状況証拠として活用するために、ドライブレコーダーを設置する。 | |
| (3) 無線機器更新 (14台) | 1,960千円 |
| 効率的なごみ収集や事故、車両火災発生時等の連絡のために設置している無線機器が、規格変更に伴い平成34年11月30日をもって使用期限が終了するため、今後5年計画で機器の更新を行う。 | |
| (4) 塵芥収集車維持管理費等 | 70,781千円 |
| 3 予算額 | 99,689千円 |
| 【特定財源】 使用料及び手数料 (戸別有料収集手数料) | 9,879千円 |
| 市債 (清掃運搬施設整備事業債) | 18,500千円 |
| 【一般財源】 | 71,310千円 |